

# 災害への備え

昨年は、房総半島台風(台風15号)や東日本台風(台風19号)などにより多くの風水害が発生し、市内においても住居の破損や倒木、停電などの被害がありました。これから10月ごろにかけては、集中豪雨や台風が多い「出水期」となります。いざというときのために日頃から避難経路、避難所、災害時の危険箇所を確認しておきましょう。

問危機管理室(☎826-1111 内線2009)

## 災害時の避難所

災害時の避難所などには、大きく分けて「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の2種類があります。どこの避難所が洪水・土砂・地震などの災害に対応しているのかを把握し、災害が起きたときに自宅や学校、勤務先などから避難する際の避難所を確認しておきましょう。

### 指定避難所

避難した住民や、災害により家に戻れなくなった住民が一定期間滞在するための施設です。市内の小中学校などが指定されています。(備蓄品あり)

### 指定緊急避難場所

災害が発生、または発生の可能性がある場合に危険から一時的に身を守るための場所です。災害の種別などによって対応する避難所が異なります。(備蓄品なし)

## 市内の避難所

### 指定緊急避難場所および指定避難所となっている学校

避難場所など	所在地	指定緊急避難場所		
		洪水	土砂	地震
① 土浦小学校	大手町13-32		○	○
② 下高津小学校	下高津4-2-9	○	○	○
③ 東小学校	中455			○
④ 旧宍塚小学校	宍塚1478		○	○
⑤ 大岩田小学校	大岩田2066-1	○	○	○
⑥ 真鍋小学校	真鍋4-3-1	○	○	○
⑦ 都和小学校	並木5-4826-1	○	○	○
⑧ 荒川沖小学校	荒川沖東3-24-3		○	○
⑨ 中村小学校	中村南5-29-5		○	○
⑩ 土浦第二小学校	富士崎2-1-41		○	○
⑪ 上大津東小学校	沖宿町2489	○	○	○
⑫ 旧上大津西小学校	手野町3651	○	○	○
⑬ 神立小学校	中神立町4		○	○
⑭ 右畠小学校	右畠1728-3		○	○
⑮ 都和南小学校	常名3090	○	○	○
⑯ 乙戸小学校	乙戸南2-1-1		○	○
⑰ 菅谷小学校	菅谷町1464-8		○	○
⑲ 旧藤沢小学校	藤沢3057	○	○	○
⑳ 旧山ノ荘小学校	本郷301		○	○
㉑ 土浦第一中学校	文京町3-8		○	○
㉒ 土浦第二中学校	東真鍋町21-7	○	○	○
㉓ 土浦第三中学校	中村南1-25-15		○	○
㉔ 土浦第四中学校	中高津3-10-4	○	○	○
㉕ 土浦第五中学校	手野町3218-1	○	○	○
㉖ 土浦第六中学校	右畠428		○	○
㉗ 都和中学校	中貫1222-2		○	○
㉘ 新治学園義務教育学校	藤沢913	○	○	○

### 指定緊急避難場所となっている学校・施設

避難場所など	所在地	指定緊急避難場所		
		洪水	土砂	地震
1 土浦第一高等学校	真鍋4-4-2	○		○
2 土浦第二高等学校	立田町9-6			○
3 土浦第三高等学校	大岩田1599	○		○
4 土浦工業高等学校	真鍋6-11-20	○		○
5 土浦湖北高等学校	菅谷町1525-1			○
6 つくば国際大学高等学校	真鍋1-3-5			○
7 土浦日本大学高等学校	小松ヶ丘町4-46	○		○
8 常総学院高等学校	中村西根1010			○
9 一中地区公民館	大手町13-9		○	○
10 二中地区公民館	木田余1675	○	○	○
11 三中地区公民館	中村南4-8-14		○	○
12 四中地区公民館	国分町11-5	○	○	○
13 上大津公民館	手野町3252	○	○	○
14 六中地区公民館	烏山2-2346-1		○	○
15 都和公民館	並木5-4824-1	○	○	○
16 新治地区公民館	藤沢982	○	○	○
17 茨城県霞ヶ浦環境科学センター	沖宿町1853	○		
18 老人福祉センター湖畔荘	手野町1892-1	○		
19 ワークヒル土浦	木田余東台4-1-1	○		
20 土浦市保健センター	下高津2-7-27	○		
21 亀城公園	中央1-13-34		○	○
22 川口運動公園	川口2-12-75		○	○
23 神立公園	北神立町3		○	○
24 霞ヶ浦総合公園	大岩田1051		○	○
25 一誠広場(市民運動公園)	佐野子260		○	○
26 乙戸沼公園	中村西根番外50-10		○	○



災害の種別や、被害の発生状況により避難所の安全が確保できない場合には、開設しない避難所もあります。

災害時には市から発表される最新情報に注意して、避難所の開設状況や空き状況などを確認しましょう。

全戸に配布している「土浦市土砂災害避難地図」や「土浦市洪水ハザードマップ」で、周辺の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域などの危険箇所や避難所を確認しましょう。そして、避難所までの安全な避難経路も考えておきましょう。

「土浦市土砂災害避難地図」、「土浦市洪水ハザードマップ」は、危機管理室に設置しているほか、ホームページでも公開しています。

土浦市土砂災害  
避難地図



土浦市洪水  
ハザードマップ



## 自主避難所の開設

避難が必要な状況には至っていないものの、不安を抱える方が自動的に避難するために自主避難所を開設することもあります。備蓄品はありませんので避難する際は、毛布や食料、必要な物品を持参してください。

## ペットを連れての避難

ペットを連れて避難した場合は、同じ場所で一緒に過ごすことはできません。屋外などでの飼育となります。

普段から基本的なしつけをしておき、避難時にはペットフードや首輪、リード、ケージなどのペット用品も持参するようにしましょう。



## 防災情報

災害の発生時や、発生する恐れがある場合に、市や関係機関は避難に関する情報を発表します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページなどで入手できるので、日頃から確認するようにしましょう。

### 防災情報の入手方法

市からは、「土浦市ホームページ」、「土浦市安心・安全情報メール」、「防災行政無線」を通して、災害情報や避難所の状況をお伝えします。また、防災無線レーフォンサービス(☎0120-826113)を利用して、防災行政無線の放送内容を無料で聞くことができます。



市ホームページ

安心・安全情報メール

#### ■他の情報入手方法

##### ・Yahoo!防災アプリ

防災速報や避難所状況、災害情報などが確認できます。事前に、アプリをスマートフォンなどにインストールしておきましょう。



◀ Yahoo!防災アプリ

##### ・ラジオ

NHK水戸放送局(AM:594kHz, FM:83.2MHz)  
茨城放送(AM:1458kHz, FM:88.1MHz)

##### ・NHKデジタル放送

NHK水戸放送局にチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押し「防災・生活情報」を選択し、河川水位情報や避難情報などの一覧から知りたい情報を見ることができます。

### 警戒レベルと避難行動

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	情報発信元
警戒レベル1	最新の防災気象情報に注意するなど、災害への心構えをしておきましょう。	早期注意情報	気象庁が発表
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどを見て、 <u>自分の避難行動を確認</u> しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 など	気象庁が発表
警戒レベル3	避難に時間のかかる <u>高齢者や障害者、乳幼児などとその支援をする人は避難</u> を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等 避難開始	市町村が発令
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。 指定避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告、避難指示 (緊急)	市町村が発令
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	市町村が発令

### 災害時の連絡

災害時に家族などと連絡が取れるように、災害時の連絡手段や、家族などの連絡先を覚えておきましょう。

災害時に利用できる声の伝言板「災害用伝言ダイヤル」は、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されるサービスです。

#### 災害用伝言ダイヤルの使い方

##### 伝言の録音方法

- ①「171」にダイヤルする。(音声ガイダンスが流れます)
- ②録音の場合「1」を押す。
- ③ガイダンスに従い、電話番号をダイヤルする。
- ④伝言内容を30秒まで録音できます。

##### 伝言の再生方法

- ①「171」にダイヤルする。(音声ガイダンスが流れます)
- ②再生の場合「2」を押す。
- ③ガイダンスに従い、電話番号をダイヤルする。
- ④伝言が録音されている場合、再生されます。

※他にも、大規模な災害時には、携帯電話会社が各社ホームページのトップに掲載する「災害用伝言板」があります。

# 災害への備え

## 日頃からの備え

災害は、いつ発生するかわかりません。災害時に最善の行動をとることができるように、日頃から準備をしておきましょう。

## 地域の防災力

阪神淡路大震災では、多くの人々が家族や近隣の住民によって倒壊した建物から救出されたと言われています。災害時には、消防や警察の救助に時間がかかることもあります。自分の身を自分で守る「自助」と、地域や近所の人たちが協力して防災活動に取り組む「共助」によって、地域の防災力を高めましょう。

### 自助

自分の身は自分で守る

- ・日頃から災害時の避難場所などを決めておく。
- ・飲食物や生活必需品などを備蓄し、すぐに持ち出せるようにしておく。
- ・自宅周辺の危険箇所(浸水・土砂災害)について確認する。
- ・家具の固定や、窓ガラスの破片が飛び散らないようにフィルムを貼るなど、自室内の危険箇所を点検・整備する。

### 共助

地域や近所の人々が互いに助け合う

- ・普段から近所付き合いを大切にする。
- ・非常時の役割分担や非常時の連絡方法を確認する。
- ・地域の防災訓練に積極的に参加する。
- ・近所のお年寄りや身体の不自由な方などに、災害に関する情報などを伝える。
- ・可能な範囲で、お年寄りや身体の不自由な方の避難を支援する。
- ・避難所の運営を支援する。

## 非常用持ち出し品の用意

災害時にすぐに必要なものを持って避難できるよう、非常用持ち出し品の用意・点検をしておきましょう。その際、家庭によって必要なものや持ち出せる量が違いますので、毎日の生活を振り返って、持ち出し品を考えましょう。

## 家庭内の備蓄

災害が発生した後は、通常時のように食料などを入手することが困難になることがあります。本格的な支援が始まるまでの避難生活のために、最低3日の食料や水を備えておきましょう。

お米や缶詰、インスタント食品など、普段使っていて長期保存の可能な食材を少し余分にストックし、古いものから使っていけば、災害時に対応できる備蓄食料となります。

### ●非常用持ち出し品チェックリスト(例)

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 非常食                         | <input type="checkbox"/> ろうそく        |
| <input type="checkbox"/> 飲料水                         | <input type="checkbox"/> ヘルメット       |
| <input type="checkbox"/> 現金                          | <input type="checkbox"/> 雨具類(傘・かっぽ)  |
| <input type="checkbox"/> カード・通帳                      | <input type="checkbox"/> 手袋・軍手       |
| <input type="checkbox"/> ラジオ                         | <input type="checkbox"/> 防災マップ       |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話                        | <input type="checkbox"/> 衣類          |
| <input type="checkbox"/> ホイッスル・ブザー                   | <input type="checkbox"/> タオル         |
| <input type="checkbox"/> 常備薬・救急医療セット                 | <input type="checkbox"/> 重要書類など      |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・バッテリー<br>(電話・ラジオ・ライト用) | <input type="checkbox"/> 保険証・免許証     |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ライト                    | <input type="checkbox"/> 普段飲んでいる薬    |
| <input type="checkbox"/> 衛生用品                        | <input type="checkbox"/> お薬手帳        |
|  | <input type="checkbox"/> 介護用品や育児用品など |
- 

※避難生活中の感染症などの予防ため、マスクや除菌シートなどの衛生用品を用意しておきましょう。

## 災害時の感染症対策

災害時の避難所は密集状態となり、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの集団感染が起きる恐れがあります。感染防止のため、学校の体育館だけでなく校舎も活用することや、他の公共施設、災害協定締結先の施設を活用するなど、密集状態を避けるための対策を検討しています。

皆さんも、次のように避難行動を工夫するなど、感染リスクの軽減にご協力ください。

- 自宅が安全である場合は、在宅避難を行う。
- 安全な親戚・知人宅などを避難先にする。
- 在宅避難が困難な場合は、自家用車やテントを活用する。

